

2020年度

事業計画書

及び

収支予算書

一般財団法人

愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

目 次

1	事業計画書	1
2	収支予算概要	3
3	収支予算書（正味財産増減予算書）	4
4	資金調達及び設備投資の見込み	6

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 2020年度 事業計画書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

2026年の愛知・名古屋アジア競技大会の成功に向け、2019年10月の理事会で承認された大会開催基本計画に基づき、各分野の事業を着実に推進する。

とりわけ、2020年度は、世界中から多くの人々が集まる東京2020大会の機会を捉えて、愛知・名古屋大会の積極的なPRを行うとともに、東京2020大会についての詳細な情報を収集し、愛知・名古屋大会の準備及び運営に活かしていく。

1 大会開催に向けた着実な準備の推進

(1) 競技

- ・大会開催基本計画に仮決定として位置付けた35競技会場について、競技の円滑な実施に向けて、関係者の動線や諸室の配置などの運営計画の作成のため、国内競技団体や施設所有者等との調整を進める。

(2) 競技大会施設

ア 競技会場

(オリンピック中核28競技)

- ・調整中の競技会場について、競技会場の仮決定に向けて、引き続き国内競技団体や施設所有者等との調整を進める。
- ・仮決定した35競技会場について、着実な会場整備に向けて、国内競技団体や施設所有者等との調整を進める。また、必要に応じて、アジア・オリンピック評議会(OCA)、各アジア競技連盟等との協議や競技会場の確認を行う。

(オリンピック中核28競技以外)

- ・パリオリンピック追加4競技の決定(2020年12月の見込み)を受け、国内競技団体や施設所有者等との調整を踏まえて、競技会場の仮決定に向けた検討を進める。

イ 選手村

- ・メイン選手村の施設計画の作成に向け、選手村に必要なサービス施設(ダイニング、診療所等)の機能や仕様等の諸元をまとめ、具体的な施設配置の立案や概算工事費の検討を進める。
- ・選手村の分散については、競技会場の仮決定を踏まえ、引き続き調査を進めるとともに、早期の宿泊施設の確保に向け調整を進める。

(3) 宿泊

- ・大会関係者の宿泊に関するOCAとの調整に向けて、先催大会の宿泊実績を踏まえつつ旅行会社等へのヒアリングを行い、大会関係者別の宿泊施設配置計画の検討を進める。
- ・大会関係者の宿泊施設を確保するため、引き続き業界団体やホテル等への協力依頼を行う。

(4) 輸送

- ・仮決定した競技会場における、選手団及び観客の輸送について、輸送手段や輸送ルートの検討、必要な輸送力の推計、渋滞箇所等の課題の調査と対応案の検討を行う。なお、仮決定35競技会場のうち、2019年度に10会場についての検討を実施しており、2020年度には25会場についての検討を予定している。

(5) 宣伝活動

- ・杭州アジア競技大会組織委員会（HAGOC）との共同PR動画を制作し、愛知・名古屋と杭州の双方がイベント等で活用するなど、共同PRの取組を進める。
- ・東京2020大会に合わせ、愛知・名古屋大会を国内外へ周知するため、東京都内を中心として、大会スローガン・エンブレムを用いたポスターやチラシ等を活用し、集中的にPRを実施する。

(6) マーケティング

- ・スポンサー獲得に向け、専任代理店を選定するなど、マーケティング活動を実施する。

(7) その他

- ・OCA総会への出席やOCAの視察対応等を行う。

2 組織委員会の体制整備

- ・幅広い支援の獲得など、大会の準備及び運営を円滑に進めるため、本年、夏頃の公益財団法人への移行を目指し、手続を進める。

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

2020年度 収支予算概要

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

I 一般正味財産増減の部

一般正味財産期首残高 . . . 369百万円 (①)

収益の部 . . . 225百万円 (②)

地方公共団体負担金 (愛知県・名古屋市) 178百万円
(愛知県: 119百万円 / 名古屋市: 59百万円)

民間助成金 (toto助成金) 28百万円

指定正味財産からの振替額 19百万円

費用の部 . . . 232百万円 (③)

事業費 204百万円

〔 競技・競技会場・選手村・宿泊・輸送等各運営分野の
検討、宣伝活動、マーケティング活動の実施 等 〕

管理費 28百万円

〔 組織委員会の運営、体制整備 等 〕

当期経常増減額 (②-③) . . . △7百万円 (④)

一般正味財産期末残高 (①+④) . . . 362百万円 (⑤)

II 指定正味財産増減の部

指定正味財産期首残高 . . . 22百万円 (⑥)

〔 一般正味財産への振替額 . . . 19百万円 (⑦) 〕

指定正味財産期末残高 (⑥-⑦) . . . 3百万円 (⑧)

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高 (⑤+⑧) . . . 365百万円

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会
 2020年度 収支予算書（正味財産増減予算書）
 （2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	予 算 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取負担金等	205,643
愛知県受取負担金	118,630
名古屋市受取負担金	59,315
民間助成金	27,698
② 指定正味財産からの振替	19,199
受取寄付金振替額	19,199
経常収益計	224,842
(2) 経常費用	
① 事業費	204,560
給料手当	6,739
賞与引当金繰入額	1,558
法定福利費	4,257
福利厚生費	60
渉外費	30,574
旅費交通費	31,340
通信運搬費	589
消耗什器備品費	129
消耗品費	1,863
印刷製本費	894
光熱水費	391
賃借料	11,436
謝金	103
租税公課	180
支払手数料	3,851
広告宣伝費	25,066
委託費	85,530
② 管理費	27,779
役員報酬	200
給料手当	3,567
賞与引当金繰入額	825
法定福利費	2,253
福利厚生費	32
会議費	4,707
旅費交通費	4,039
通信運搬費	312
消耗品費	986
印刷製本費	465
光熱水費	207
賃借料	2,498
謝金	19

租税公課	95
委託費	7,574
経常費用計	232,339
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,497
基本財産評価損益等	0
特定資産評価損益等	0
評価損益等計	0
当期経常増減額	△7,497
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△7,497
一般正味財産期首残高	369,396
一般正味財産期末残高	361,899
II 指定正味財産増減の部	
受取寄付金	0
一般正味財産への振替額	△19,199
当期指定正味財産増減額	△19,199
指定正味財産期首残高	22,324
指定正味財産期末残高	3,125
III 正味財産期末残高	365,024

資金調達及び設備投資の見込み

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1 資金調達の見込みについて

当期間中における借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当期間中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

